



RI会長 カルヤン・パネルジー

第2790地区ガバナー

山田 修平

第5分区ガバナー補佐

釜田 英之

第5分区幹事

池田 哲夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 関 一憲

クラブ研修委員会

勝浦RC 齋藤 豊久

クラブ社会奉仕委員会

鋸南RC 三橋 美子

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長

関 正己

幹事

漆原 慎子

クラブ会報委員長

渡邊 昌俊

副委員長

齋藤 麻美子

委員

石井 美香子

渡邊 ヒロ子

11月の例会

- ・11月25日(ゲスト卓話)

ちばぎん総研 受託調査部長

小松 孝之 様

12月の例会予定

- ・12月2日(ゲスト卓話)

元筑波大講師 カイザー氏

- ・12月9日(クラブ年次総会)

- ・12月16日(ゲスト卓話)

西原税理士

- ・12月23日(休会)

- ・12月25日(クリスマス家族例会)

会長挨拶 関正己会長



こんにちは、一週間の中で我がクラブ内での出来事をお伝えいたします。先週の例会後、村石増強委員長招集の増強委員会が開かれ、前向きな希望の持てる案件が数多くあり、増強に光が見えてきたような気がいたします。

昨日、6:30分よりブルーベリーヒルに於いて、I.M実行委員長千葉さんの招集にて、執行組織、及びスケジュールのザックリとした案件を決める会議が行われました。

さて、ロータリーの友11月号に掲載されていた多くの記事の中で今日は二つ取り上げたいと思います。まず、水をきれいにまじり気なく、です。日本では、今や北の北海道から南の沖縄まで、どこに行っても水道水であれば、まず安心して飲むことができます事は皆さん周知のとおりです。ロータリーの友に依れば、インドには飲料水に大量に含まれているフッ化物により、大きな被害を被っている人が沢山いるとの事です。歯科医の高梨先生がおられる中でおこがましいのですが、フッ素は虫歯予防に非常に効果が有り現在の日本の歯磨き粉の中にはほとんどと言ってよいほど混入されているそうです、が、その量が多すぎると、副作用として斑状歯やダウン症、がん、老人性痴呆症の指摘もあるようです。(日本では過去に沖縄県、京都府、三重県で水道水にフッ素をいれた経緯がある)そのフッ化物が非常に強力に歯を侵食、骨の奇形、靭帯や腱の硬化、骨軟化症に迄発展しているとの事です。第1020地区(スコットランド)は第3110地区(インド)と協力し、ロータリー財団のグローバル援助金を利用してパタリ村の60世帯にフッ化物除去フィルターを提供した、との記事が載っていました。

また、我々が知らなかった、ポリオ撲滅に大きな力を発揮したのが影の役者、「物流」だったそうです。ポリオワクチンの運搬用に開発された「コールドチェーン」という方法(2~8℃)が、ポリオをはじめ、はしか、破傷風、ジフテリアのワクチンを発展途上国の奥深くまで子供達に投与出来た理由だそうです。

また、カルヤン・パネルジーRI会長のメッセージの「価値をきめるもの」の中に「最も奉仕するもの、最も報われる」このことが1ページに間接的に書かれている様です。まだお読みでない方は是非読んで

みてください。

また、先般情報委員会が開催された折、リーダーとしてお招きした河原勝壽氏がガバナー月信に投稿された記事の中に「群れない！慣れない！頼らない」画家・堀文子の生き様を紹介し、その中に「権威に媚びへつらおうとしない」青木繁 画伯のことばもありました。まさにこの事は自分の生き方に共通したものと、共感いたしました。群れないは、同病相哀れむ、親睦は相手を尊重することが根底にあって成り立つ。慣れないは慢性化しない、頼らないは、ロータリアンは自分のロータリー観を押し付けてはならない、自前の脳で考える事だと言っています。実は、この事をいう事自体がすでに頼っているのかもしれませんが。

ガバナー月信、ロータリーの友を読みましょう。

幹事報告 漆原摂子幹事

1. 国際ロータリー日本事務局 1ドル = 78円
2. 山田地区ガバナーより礼状あり

委員会報告

IM実行委員長 千葉正徳君



昨日、ブルーベリーヒルにて第一回実行委員会を行いました。その結果、次のように役員さんを決めさせていただきました。(別紙:「職務分担表」参照)

プログラムですが大きな2つだけお伝えします。

基調講演は、大矢惣一郎さんで、30分間、「青少年とかかわりをもとう」です。

メインでは、三遊亭円楽師匠をお呼びし、1時間講演をしていただくことに決定しました。

2月13日金曜日に、ブルーベリーヒルにて行います。13時点鐘で、家族にも出席できるようにしましたので、ご協力をよろしくお願いいたします。

ニコニコBOX

本人誕生日

林重利君



昨日で72歳になりました。病気を患ってから4年が経ちました。これからも元気に過ごしたいと思います。

自主申告

釜田英之君



週報に組織図が載ると思いますが、ぜひ実行委員長の方にご協力の方お願い致します。

村石愛二君



昨日、茂原で昔の貨物車の後ろについていた「車掌車」というものを4両積んできました。新しいタイプってというのは国鉄がやっていたものですが、あとの3つは昭和28年、私の生まれた年に改造したというのですから、その前に作られたものが合わせて3両、全部で4両ききましたのでまたぜひ遊びにおいでください。

古川範男君



今から41年前の今日、私は弁当屋の日本食堂で幕の内弁当の制作に邁進していました。

その時の昼休みのときニュースを見て、愕然としました。年齢的に多くの方が経験されてないと思いますが作家の三島由紀夫が陸上自衛隊の駐屯地で自殺を遂げたという。彼の前作はほとんど読んでいましたが私はびっくりしました。「今、皆さんが立ちあがらなければ美しい日本は全滅します。天皇を中心とした美しい日本をまた作るではありませんか。」と彼の美学に基づいて割腹したわけですね。よく考えるとこれが面白いのです。彼の四十九日は1月12日ですが、その日っていうのは三島の誕生日なのです。割腹自殺を遂げ、そして1月12日に生まれ変わるという計算を彼はしていたのです。ですから、その年に生まれた誰かは三島の生まれ変わりかもしれません。今、オリンパスや大王製紙など事件があり企業ガバナンスが非常に問われています。組織がめっちゃくちゃになろうとしています。残すべきものはいったい何か、日本の美しさはいったい何なのか、三島の命日を機に日本の良さについて考えて頂きたいと思います。

ゲスト卓話

ちばぎん総研 受託調査部長 小松孝之様



「震災後の千葉県経済の動向等について」お話しします。

資料を見ていただきたいのですが、2011年景気が少し上がってきたところに、3.11という震災が起りました。3.11は一番谷になっているところですが、というのもそれからまたすぐ少し上がっているのです。全国的に見れば、東北には自動車ですとかの部品工場が多かった、そこがやられてしまったものですからサプライチェーンというのが崩れてしまったのです。しかしやはり日本人というのはすごいですね。短期間で、それを修復したわけですね。そのサプライチェーンの復旧が思ったより早かったものですから、全体

としては生産業を中心に震災前に戻ってきているというわけですね。今はどうなのかという話ですが、今朝見ましたところ株価は確か安値を更新しています。それはなぜかということ、ギリシャ、欧州の財政悪化問題が尾を引いているというわけなのです。せっかく3.11という震災から日本の大企業を中心に経済が復活してきて、さあこれから復興頑張ろう、という時に海外の問題でこれからどうなってくるのか、というのが一番にあります。これからは肝になる、そのギリシャ、欧州経済問題について一丸には言えませんがまずギリシャっていうのはどういう国かということのを少し見ておきますと、GDP(国内総生産)、みんなで一生懸命働いて付加価値をつけますよね。日本の今のGDPは約500兆円です。ギリシャは日本円に直すと約24兆円、これがどれくらい大きいかということ、例えば千葉県の県内総生産は今約20兆円なのです。ですから、ギリシャ一国が吹っ飛んだとしても、千葉県にちょっとプラスしたくらいの総生産しかないのです。しかし何が問題かと言うと、表にもありますがそのギリシャが自分の国の体力も考えずに、どんどん借金をしてしまったのです。その借金は何かということ、国債をどんどん発行してしまったわけですね。日本でも国債いっぱい発行していますよね。日本の場合は、預金でそれを買っているのでまだ良いのです。つまり日本が出した国債を日本が買っているということで日本の国が抱えているのですから、自分達でなんとかできるわけですね。よその国に返したりとか、そういう事はないのです。ところがギリシャは誰が買っているかということ、どんどんお金が欲しいからとにかく外国の人に買ってもらって、その上それを公務員の給料などに使ってしまったのです。

今、ギリシャの国債の半分以上はフランスとドイツが持っています。こういった事がフランスやドイツの経済を悪化させているのです。ギリシャの経済が崩れても構わないのだけれども、それがフランスやドイツに飛び火しているという状況です。要は、そういったユーロの使用国で経済が悪化しているという事が問題なのです。では、それがなぜ日本で問題になっているのかということ、日本でもさすがにフランスやドイツの国債はいっぱい持っています。フランスなどの経済が急落するという可能

性もありますしそうすると利回りが悪くなり資産の価値が下がる、といった問題もありますし、今アメリカの景気は悪化していますよね。それからもしユーロ圏がそういう状態になってしまうと、日本円高がどんどん進んでいってしまうのです。ですからギリシャがどうか言うよりも、ユーロを使用する他の大きな国の経済が悪化することにより、日本がそういった国の国債を持っている比率が高いので損害を被る可能性が高いです。それから、ユーロが売られて円高になり、輸出入国の日本には効いてくる、そういった間接的な影響が出てくるように思われます。資料に御社の日本の主要な金融機関の国債の事について書かれていますが、要は大した額じゃないよということです。日本の企業、経営環境はそこに書いてある通りです。今、日本経済の成長は伸び悩んでいます。この20年間、デフレ状態がずっと続いております。日本のGDPも約500兆円と言いましたが、それも20年間ほとんど変わっていません。それから国内事業も縮小しています。縮小というのは何かと言いますと、人口減少です。これからの日本の人口は間違いなく減少します。これは女性が子供を産む数というのが2を切っているというので、もうどうしようもない事なのです。それから、円高による為替のリスクもあります。日本もアメリカもこの状況が当面続くかと思えます。その上、ここに来て原発事故による電力不足、それと放射能、風評被害と、こういったところが意外に長く効いてくるのかなといったところです。

そして千葉県震災後の経済状況ですが、震災の被害については、人的被害、建物の倒壊の状況等、資料にまとめてあります。私も、6月にバスで石巻市に行っていました。思っていたよりも悲惨な状態でした。朝6時に着いてボランティアセンターに行くところへ行ってくださいと指示が出るわけです。石巻市と合併された旧北上市へ行ってくれとのことで、そこにある田んぼで瓦礫などの撤去をしたわけですがけれども、撤去をしていると写真集だとか、記念写真、年賀状などいろいろ出てくるのです。それは貴重品ということで一旦預けて、後で持ち主を探すという形になっていました。前日に、田んぼ近くで遺体が発見されてすぐ作業が中止になったそうですが、それを聞いて、こう悲惨だなというが、一

瞬にして人生を奪われちゃったんだなと思うと居たたまれなくなりますし、次の日夜中の12時に千葉に帰ってきて、そして普通に出勤したのですけれども、自分の生活に戻るとやはり自分達は恵まれているなといのはすごく実感しました。これは余談でしたが、今の千葉県の復旧・復興の状況ですけれども、県の補正予算の方が3月の震災後から、929億円過ぎています。第三次補正予算案が、先日、参議院の本会議に通りました。今行ってわかるとおり、浦安市なんかはまだ道路補修など始まっていないのです。と言うのも、作業はきちんと予算がついてからスタートしますから、震災後の公共施設などのダメージの本格的な復旧作業はこれから始まっていきます。予算が確定しましたので、これが復旧・復興の予算関係です。

それから千葉県の経済の現状がどういうものかですけれども、我がちばぎん総研の県内の企業にアンケートを出しまして状況判断の指数をとっています。日銀単価と同じやり方で、「状況が良くなった」から「状況が悪くなった」を差引いたものです。それで、資料を見ていただくと、これは2007年からしかとっていませんが、1つだけ谷があるところがあってそれが2009年、その次の谷が3.11です。3.11はかなりがくっとへこんでいますが、そこからかなり回復してきています。ですから、日本の皆さんかなり頑張っていて、予想以上に回復が早かったわけです。この先どうかというと、ギリシャの国債問題において、少し陰りが出てきそうかなといった状況が見えております。下の表は何かと言いますと、これもアンケートをとりまして、震災前を100とした場合の現在の状況が直感でどれくらいですかと聞いたものです。製造業の9月の数字を見ると、震災前と比べて経営者から見ると9割近くまで戻ってきているという状況です。ただ、ひとつだけホテル・旅館業を見てみますとここだけ7割近くしか戻っていないといった状況になっております。一部のホテル・旅館を除いて、個人客についてはだんだん戻ってきています。しかし、団体客ですとか外国客、関東以外から来る客の比率がまだ戻っていません。お土産に使う金額は、県内の方で5,000円以上使われる方は15%未満ですが、関東以外から来るお客さんですと半分以上の方が5,000円以上使われるの

です。遠くから来るお客さんほどお金をたくさん使いますので、遠くから来るお客さんが増えるといいなという風に思います。

今、風評被害やいろいろなことで、メンタル面で一番大変なのは柏ですとか松戸、流山の地方です。放射能問題が、あちらの都市では大変なものになっています。実際、千葉日報などにも出ていましたが「千葉県が初の人口減少」ということで、これは、私は長期的なものではないと思います。おそらく、震災関係で出ていってしまった人が居るのではないかなと思っています。ホテル・旅館業だけは厳しいと、戻りきっていないよという状況になっております。

次に公共工事の状況ですが、一時的に公共工事の財源つきましたから、これから復旧・復興の道路工事など始まりますのでその辺のところには若干期待できますが、やはり一時的なものかと思われま。それから失業率ですが日本は今 3.6%ということになっています。ただこの数字がどういったものかということですが、例えばアメリカは今 9.9%、スペインは 21.2%、フランスでも 9.9%です。アメリカ・フランスは 10 人に 1 人が失業しています。ですから、日本も今大変ですがああいった国から比べるとまだ低い状態です。先ほどの美しい国を目指すというのもそうですけど、高校生とか大学生とか、真面目な若い人たちが働けないという状況はどうなのかなと思います。

次に、今年弊社の方で県内企業にアンケートをとって海外進出状況を聞きました。今円高が進んでおり、電力不足で計画停電などやられてはたまりません。ということで海外企業にシフトしてきている会社も増えているのです。千葉県はどうかなとアンケートをとってみましたら多少動きがあります。これまで海外に拠点を持たなかった企業が初めて海外に進出しようとして、それを検討している会社が 7.3%ありました。

次に農業・漁業関係ですが、今後の見通しとして、農業・漁業で一番大変なのはやはり風評被害です。ですから早く福島原発の風評被害、これがなくなるとどうしようもないなという風に思います。直近でいうと流山の椎茸、これは出荷停止になっています。

それからお茶もずっと出荷停止になっています。農家の方、一生懸命作ってもこの風評被害で可哀想だな、という風に思います。それから観光業、これもまだまだ戻っていません。状況は資料に書いてあるとおりですが、やはり原因は放射能問題です。

製造業の方では 6 割の方が震災前に戻れたという風に言っております。あと不動産業ですが、千葉の浦安などはブランドだったのですが、これが今厳しい状況になってきているなという状態です。そして勝浦の状態ですが、人口を見ていただくと、千葉県全体ではなだらかに減っているという状況です。勝浦は今のままですと間違いなく減ってしまいます。女性の産む子供の数も変わらない、勝浦に移住する方も変わらないということです。どういう風にしたら変わるかということ、今住んでいる人がどうしたら幸せになれるかといったことを考えて地域で支えあっていく、そういったことを考えなくてはならないと思います。今人口が減少していて、高齢化が進んでいる、そういったなかで、対応できる方法は 3 つあるのではないかと考えます。ひとつは、他市との競争です。他よりも勝浦の魅力をよりアピールしていくということです。それからニーズの把握ということで、小さくても良いからお客さんが求めているものは何かを考えて自分の商品だとかサービスを開発、変えていくことです。それから、やはり海外進出。しかしこれは簡単にできるものではないので、最初の 2 つというのは特に大事なのではないかと思います。

世帯構造が、これから高齢者の夫婦のみというのが増えてきますよといったことを予想したものを私たちが会議で議論したものを羅列しただけなので、実際にどういう風になるかはわかりませんが、例えばこんなものがこれから求められてくるんじゃないかなといったものを並べてみましたので見ていただければなと思います。

出席報告 11月25日(金)

出席委員会 手塚 明宏 委員長

会員	出席	MU	欠席	出席率
38名	28名	3名	7名	81.58%

欠席：浅野玄航、内田秀実、斎藤義典、高山裕紹、吉野裕子、渡辺保、渡辺幸男

【今週の一言】

自分が変わる(チェンジ)、そして挑戦する(チャレンジ)、勇気をもって行動すれば、チャンスは必ずやってくる。